

第13回 一線美術会奈良グループ展

関西支部長 市川 紘子

- ・会期…3月16日(水)～20日(日)
- ・会場…ギャラリーGM・1

第13回一線美術会・奈良グループ展を3月16日(水)～20日(日)ギャラリーGM・1で開催しました。

昨年同様、開催中はコロナ対策で扉は開放も、マスクを着用し、アルコール消毒をして記帳していただき、目録は各自で取っていただきました。

まだまだコロナ禍の収まらない時期で、暖かい日、寒い日がありましたが、大阪京都方面から多くの観覧者があり盛会裏に終わることができました。

今回も一名1点(4号～10号)の小作品を30点を展示しましたが個性豊かな力作ばかりでした。

高齢化もあり、出品者が減少かと思いましたが、初出品者が8名と多くあり嬉しく思いました。友人知人が各方面からの来観で、明るく楽しい会期でした。狭いながらも落ち着きたいギャラリーと好評で楽しみにしていただき、先輩方のご意見ご指導を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。頑張って次回も描きたいと思いました。本当に一日も早くコロナ禍の終息を願っています。



講習会「マチエールの効果と実習」

関西支部長 市川 紘子

- ・日程…4月24日(日)
- ・会場…西武公民館5階創作室

一線美術会関西支部講習会のご案内

日時 令和4年4月24日(日) 午後から時間未定

会場 西部公民館創作室予定

「マチエールの効果と実習」講師 岡崎浩氏

一水会委員 研水会委員 日展会友 奈良県美術人協会会員
奈良市美術家協会会員 NHK文化センター講師




作品 20号Pサイズ 船崎の里 アクリル
20Pサイズ 白馬 アクリル

講習内容

- ① マチエールを考える事により絵がどう変わるか
- ② さまざまなマチエールの作品紹介
ラッピング紙(和紙)を使った作品 紙をくしゃくしゃにして張った作品 かきがらを使った作品
ポロニア石膏とジェツンを混ぜた絵 布(ガーゼ)を張った作品 段ボールに描いた作品
マット紙を切り裂いて描いた作品
- ③ 実習かきがらを焼いて下地を作る 紙をくしゃくしゃにして張り下地を作る
- ④ 作った下地に花1輪描く

準備画材や詳しい内容は次回の支部通信にてお知らせいたします。
参加者の人数制限がありますので、参加ご希望の方は速くお知らせください。

関西支部では支部総会の日程にあわせて一般の方も参加できるように、他団体で活躍されている先生をお迎えし講習会を行って来ましたが、2年間はコロナ禍で中止していました。

今年は4月24日(日)に奈良近鉄学園前駅の西部公民館の5階創作室で「マチエールの効果と実習」を行いました。受講者は支部会員と奈良グループ展の出品者合わせて16名でした。

講師として岡崎浩先生(一水会委員・日展会友・奈良県美術人協会会員・奈良市美術家協会会員・NHK文化センター講師)にお願いしました。講習

内容は「マチエールを考えることにより絵がどう変わるか」と「様々なマチエールの紹介」でした。また、先生の作品を参考にを見せていただきました。和紙を使った絵、紙をくしゃくしゃにして張った絵、牡蛎殻を塗った絵、ポロニア石膏とジェツンを混ぜた絵、布(ガーゼ)を張った絵、段ボールに描いた絵、マット紙を切り裂いて描いた絵、モデリングペーストも使用した絵の15点でした。

実習では、画用紙に紙をくしゃくしゃにしてジェルメデュウムで貼って乾いた下地に水彩やアクリル絵の具で花の絵を描きました。それぞれに何とも言いえない風合いの作品が出来ました。

受講者で「初めてマチエールという技法を体験して勉強になり、楽しかったし、これからやってみようと思います。」という感想をいただきました。マチエールにいろいろな材料や方法があり、10人いれば10のいろいろなマチエールがあるように非常に奥深いことがよくわかりました。

今回のマチエール講習会を楽しみにしていましたので楽しく、自分好みで、興味があり、マチエール効果の作品作りにも挑戦して頑張りたいと思いました。

